

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	鳥栖市立麓小学校
1 前年度 評価結果の概要	○学力の向上については、新しい学力観について授業実践・研修会等で共通理解・共通実践を進め、児童の学び合いや伝え合いにおける伸びや活性化も見られるが、基礎学力の定着等、全体的な底上げも必要である。 ○心の教育については、今年度も地域の方との交流や栽培活動、集会等を通して、人権や共生、生命尊重等についての意識を高めるよう努めてきた。いじめ対応についても、未然防止や初期対応の大切さを職員全体で認識し、こまめに情報共有を図りながら組織的に対応することができたと考えるが、S N S関連の事案が増えてくることが予想される。児童の安心・安全のため、今後もしっかり取り組んでいきたい。コミュニティスクールに関しては、その意義が職員・保護者に浸透してきている。地域で生き、地域の未来を担う児童が、地域のよさ、地域の人々とのつながりのよさ・大切さを感じられるようより充実させていきたい。 ○健康・体づくりについては、児童の委員会活動で外遊びや食の大切さ、感染予防等に関する意識を高めることができたと考える。健康・体づくりは、家庭の理解や協力も必要なので、親子で取り組めるような働き掛けについても取り組んでいきたい。 ○業務改善・教職員の働き方改革の推進については、子ども連との時間に心の余裕を持てるように、また、教職員が個々の時間を大切にできてそれが働き甲斐の充実につながるためにも必要である。組織対応を進め、前年度よりも時間短縮はできているが、人員不足等の問題もあり、実情として負担感、多忙感の解消は進んでいるとは言えない。 ○小中一貫教育の充実については、鳥栖西中学校区の三校合同の研修会や児童・生徒同士の交流等で、引き続き連携を深めている。教科「日本語」では、授業公開等で、教科「日本語」のよさも保護者や地域に浸透してきている。児童自身も、そのよさをより実感できるよう、授業実践を充実させていきたい。 ○特別支援教育の充実については、校内研修や研究授業を通して、引き続き教職員の特別支援教育に関する専門性の向上に努めてきた。また、日々の指導・支援についても、教職員相互の連携、面談を通しての保護者との情報共有等を図りながら進めてきた。

2 学校教育目標	「ふるさとを誇りに思い、やさしく・かしこく・たくましく生きる麓っ子の育成」
----------	---------------------------------------

3 本年度の重点目標	◎ 子どもの「心」を育む ○ 豊かな体験活動の充実 ○ 小中一貫教育・幼保小連携の推進	◎ 子どもの「学び」を育む ○ 教科「日本語」の充実 ○ 食育指導の充実	◎ 子どもの「体」を育む ○ 学力向上（理数教育） ○ コミュニティ・スクール定着・推進	○ 体力向上の取組	○ 特別支援教育・人権教育の推進 ○ GIGAスクールの更なる推進
------------	---	--	--	-----------	--------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○児童が学ぶことの楽しさに出会える算数科や理科の授業作りの実践	○理科や算数の授業で、「自ら問題を見出したり、解決したりした。」と実感できた児童の割合が80%以上	・学びたくなるように、問題の提示の工夫をする。 ・学習のふり返りの視点を示したり、ふり返りを次の授業の導入に活用したりすることで、今までの学びや経験を学習に生かそうとする意欲や態度を育成する。	・		・		・	【学び育てチーム】	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳や人権・同和教育に関する学習等を通して、子どもの豊かな心が育てられていると、アンケートにて肯定的な解答をした保護者80%以上	・人権学習、人権集会を児童の発達段階に応じて実施し、人権意識の向上を図る。 ・授業参観にて「ふれあい道徳」として全通常学級で授業公開を行い、家庭と連携を図って豊かな心を身に付ける。	・		・		・	【心育てチーム】	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取り組み、事案対処等)について組織的対応ができていると解答した教師90%以上	・いじめ早期発見のため「なかよしアンケート」を月に一度実施する。 ・年度の始めにいじめや差別的事象への対応について職員研修を行い、週に一度生徒指導協議会で支援の必要な児童について共有する。	・		・		・	【心育てチーム】	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・授業中の児童の言動や児童の作品等に肯定的な評価をしたコメントをする。 ・将来のことや中学生生活を知るために、キャリア教育や中学生との交流を年間を通して行う。 ・児童の資質・能力を育む授業づくりに関する校内研修等の実施	・		・		・	指導教諭・学年主任	
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」 ●「健康を考えて行動できる能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒70%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒70%以上 ●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ●「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた児童生徒70%以上	・学級で全員一緒に遊ぶ日を設定したり(週1回程度)、昼休みや業間休みに外遊びの声かけを行ったりする。また、「麓っ子体力アッププロジェクト」に取り組み、楽しみながら体力の増進を目指す。 ・給食時の放送やリーフレットを活用し、食事に対する関心を高める。 ・交通安全教室を行ったり、校内外の危険箇所を知らせることで交通規則の遵守と児童の安全に関する意識を高める。 ・「麓っ子ががんばり表」を活用し、継続的な指導を行う。	・		・		・	【体づくりチーム】	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を設定する。(毎週金曜日18:00を厳守) ・職場全体、職員個々人で時間を生み出す工夫や効率化を図り、月間時間外校内業務の45時間以内を目標にする。	・		・		・	教頭・主幹教諭	
●特別支援教育の充実	○個に応じた支援体制の確立のための教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員80%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施(4月・7月・11月) ・ケース会議の開催、情報共有	・		・		・	【特別支援学級担当】	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・授業参観や学校だより、学年・学級通信等を通して、教科「日本語」の実践を保護者や地域に広める。 ・小中一貫教育担当者との定期的な情報交換をし、西中学校区としての相互の授業参観を行い、共通の取り組みを推進する。	・		・		・	主幹教諭・指導教諭	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------